

Cente Technical Information

発行番号	001-0042	Rev	第1版	発行日	2010/08/16
題名	書き込み系API実行時にFAT2領域へのバックアップが正しくコピーできない問題について(メタデータ保護機能使用時)				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver5.00 ~ Ver5.71				
影響API	fputc, fputs, fwrite, chg_filelen				
関連資料	なし				

【現象】

メタデータ保護機能使用時のFAT1領域からFAT2領域へのバックアップ処理が正しく行なわれない場合あり、不意な電源断発生時に誤ったバックアップデータをFAT1領域に書き戻してしまう場合があります。その場合、ファイルアクセス時にファイルサイズ分のデータリードやシーク処理が行なえない可能性があります。

【原因】

メタデータ保護機能を使用した環境では、FATの更新があった場合にバックアップとしてFAT1領域からFAT2領域への部分的なコピーを行ないますが、「コピー開始位置情報」の取得方法に問題があったため、FATチェーンがセクタを跨ぐ場合に、コピーが行なわれないFATセクタが生じる場合があります。

【回避方法】

■運用での回避方法

以下の何れかの方法により運用で回避することが可能です。

- ・書き込みにはfwrite()のみを使用し、fwrite()に指定する書き込みサイズを「クラスタサイズ × WRITE_CLUSTER(fs_cfg.h)」未満にする。
- ・Cente FileSystem APIのchk_dsk()を起動時に必ず実行する。
- ・メタデータ保護機能を使用しない。

■プログラム修正による回避方法

fs_ansi.cの以下の関数に修正が必要です。

fs_vfputc()、fsh_fwrite()

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上